

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 ・満期保有目的の債券以外の有価証券
 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 ・什器備品 定額法
 ・リース資産（有形） 定額法
 ・リース資産（無形） 定額法
 ・ソフトウェア 定額法
- (3) 引当金の計上基準
 ・賞与引当金 翌期の夏季賞与支給見込額のうち、当期の負担額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
 ・消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	841,660,500	2,102,400	20,000,000	823,762,900
定期預金	252,012,096	20,000,000	29,000,000	243,012,096
小 計	1,093,672,596	22,102,400	49,000,000	1,066,774,996
特定資産				
システム改修準備積立資産	13,600,000	3,600,000	13,600,000	3,600,000
小 計	13,600,000	3,600,000	13,600,000	3,600,000
合 計	1,107,272,596	25,702,400	62,600,000	1,070,374,996

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	823,762,900	(823,762,900)	()	()
定期預金	243,012,096	(243,012,096)	()	()
小 計	1,066,774,996	(1,066,774,996)	()	()
特定資産				
システム改修準備積立資産	3,600,000	()	(3,600,000)	()
小 計	3,600,000	()	(3,600,000)	()
合 計	1,070,374,996	(1,066,774,996)	(3,600,000)	()

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,841,200	2,530,137	1,311,063
リース資産（有形）	5,155,224	3,916,658	1,238,566
リース資産（無形）	1,953,600	358,160	1,595,440
ソフトウェア	21,395,000	4,862,917	16,532,083
合 計	32,345,024	11,667,872	20,677,152

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
評議員会決議に基づく寄付金指定解除額	29,000,000
合 計	29,000,000